

今、そしてこれから



まな



たの



ともに学び・ともに楽しむ



ユツカの会 中和子

Kazuko.naka@gmail.com

2020.10.24 日本語学習支援フォーラム

「ユッカの会」の活動



中国残留邦人 帰国者家族 および 外国につながる人々と ボランティアが
“ともに学び、ともに楽しむ” 姿勢で
心豊かに 充実した 生活を送る。

- 1985年 帰国者2世への学習支援を始める
- 1988年 「ユッカの会」を正式に設立
- 1991年 帰国者1世対象の日本語教室を始める
- 1995年 パソコン教室を始める
- 2003年 帰国者1世対象の地域教室開設

定住化
多様化
高齢化

*ユッカの会ホームページ

<http://yukkanokai2014.web.fc2.com/index.html>

「ユッカの会」の学習の形

- ・ 学習者とボランティアが1対1で学習
- ・ 双方が活動しやすい時間と場所
- ・ 決まったペアで長く学習を続ける
- ・ 大人も子どもも 学習機会がある（家族まるごと）

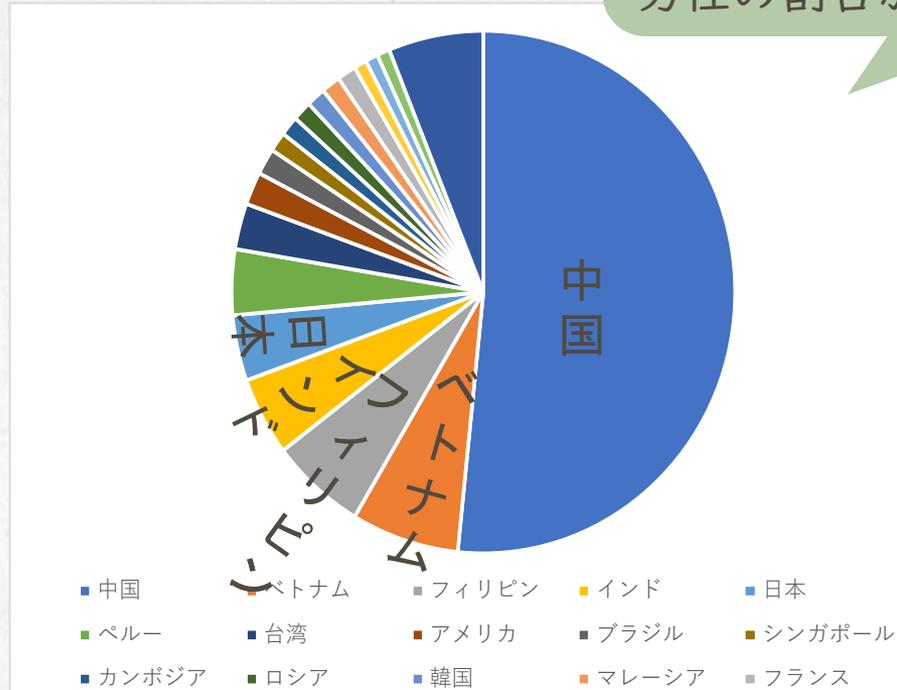
かながわ県民センター
フォーラム
あーすぷらざ
とつか区民活動センター



国別学習者2019年12月現在

国別学習者数（2019年12月現在）

中国	127
ベトナム	17
フィリピン	15
インド	12
日本	10
ペルー	10
台湾	7
アメリカ	5
ブラジル	4
シンガポール	3
カンボジア	3
ロシア	3
韓国	3
マレーシア	3
フランス	3
インドネシア	2
ネパール	2
ポーランド	2
その他	15
合計	246



大学生やフルタイムで働いている若い方も！
男性の割合が多い

学習者240名・中国帰国者1世100名
ボランティア180名

「ユッカの会」の交流活動

- お互いに顔の見える関係を作る
- 情報交換の場
- 生活に必要な情報を得る
- 地域のリソースを知る
- 日本の文化に触れる
- 異年齢交流
- 異文化交流
- ロールモデルに触れる
- 活躍の場（自分たちが主役になる）
- 人生の節目を祝う
- 達成感、作る喜び・知る喜び

バーベキュー会



おしゃべりカフェ



遠足



安全講習とお料理会

成人を祝う会



卒業を祝う会



理科実験教室



春・夏・冬の集中教室

学習者の方と一緒に！

イベントへの出店

あーすフェスタかながわ 2018
とくべつ
ユッカの会特別ランチ
 2018年5月19日(土)・20日(日)
 11:30 ~ 15:00
 ともしひカフェ ポエム10にて
 (J日本橋台駅 徒歩3分 あーすから2分)

お料理の
 作りかたを
 学ぶに来て
 ください!

Aランチ ¥600  雑炊 サラダ・スープ・デザート	Bランチ ¥500  餃子 2匹 サラダ・スープ・デザート	Cランチ ¥600  ワンタンスープ サラダ・デザート
お弁当は別売り		
お雑炊 ¥800 	餃子 ¥300 	花巻 ¥200  ワンタン・スープ・デザート
小籠包 1個 ¥70 3個 ¥200 	サラダ ¥300 	揚げピーナッツ ¥100 

※お申し込みは、7月31日迄の受付となります。



世界の家庭料理

ニーズや会の成長にそって出てきた活動

■地域の方とともに学ぶ「安全講習会」「健康講座」

暮らしの安全・安心のための知識と技術

いつまでも元気に そして出会いの場

■横浜週末勉強会

マッチングを待つ子どもの学びの場

■戸塚日本語グループ学習

グループ学習のメリットを考える

■多文化交流キャンプ 若手ボランティアの成長

創設以来続けてきたキャンプ、学んだ子どもが担い手に

■学習者に学ぶ、助けてもらう

フェスタに出店 活動資金に、世界の家庭料理

夏の教室 【対面開催（フォーラム）/オンライン開催】

2020年8月9日（日）13:30～16:00/9:30～12:00

参加者 学習者7名/11名、保護者1名、ボランティア14名/12名



タブレットに慣れよう 【対面開催（県民センター）】

2020年9月10日（木）10:00～12:00

参加者 学習者12名(帰国者1世)、ボランティア7名

ひろばに集まろう！よりよい日本語学習のために

■日本語教室（行政）と地域住民との連携と役割分担

★初期指導：行政（専門家）

「はじめての日本語」→かながわモデル

★暮らすこと・居場所としての活動：地域住民

出会いの場/社会参加の場

■私たちは

★教える/教わる関係→

おたがいが知り合い、助け合い、ともに暮らすきっかけ

ともに学び、新しい文化を作りだす楽しみ、喜び

必要な社会資源とつながる/つなげる

★やさしい日本語

■ネットワーク

より多くの機関・団体とつながる

一人ひとりのつながりを大切に

